

手作りのよさを味わう ～寄木工芸で長く使い続けられるものをつくろう～

本校の育成する資質・能力

コミュニケーション力

主体性

- 1 日時 令和4年2月10日(木) 14:00～14:50
- 2 学年・学級 2年3組(男子18名 女子14名 計32名)
- 3 場所 美術室
- 4 単元について

(1) 単元観(題材観)

本単元は、中学校学習指導要領(平成29年告示)美術〔第2学年及び第3学年〕A表現(1)イ「伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通じて、発想や構想に関する次の事項を身につけることができるよう指導する。」をうけて設定した。

本単元では、次のような資質・能力を育成することと示されている。

(ウ)使う目的や条件などを基に、使用するものの立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。

(2) ア(ア)材料や用具の特徴を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追及して創造的に表すこと。

(イ)材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって表すこと。

B鑑賞(1)ア(イ)目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。

3内容の取扱いについては、(2)「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、発想や構想に関する資質・能力や鑑賞に関する資質・能力を育成する観点から、〔共通事項〕イ.に示す事項を視点にアイデアスケッチで構想を練ったり、言葉で考えを整理したりすることや、作品などに対する自分の価値意識をもって批評しあうなどして対象の見方や感じ方を深めるなどの言語活動の充実を図ること。また、内容の取扱いの配慮事項として「A表現」の指導に当たっては、主題を生み出すことから表現の確認及び完成に至る全過程を通して、生徒が夢と目標を持ち、自分のよさを発見し喜びをもって自己実現を果たしていく態度の形成を図るようにすることとある。

本単元では、松(白色)とかりん(濃い茶)の木材を組み合わせることでできる色のコントラストを利用した模様や形状の美しさ、使う人のことを想定した使いやすさ、用途に応じた機能を考え、長く使い続けられるものを見通しをもって制作していく。

また、作品の工夫点をグループで交流し、制作の意図や創造的な工夫について批評し合うことで、互いを認め作品の見方や感じ方を深め、さらに自分のよさを発見することにつながる単元である。

(2) 生徒観(調査結果等から見る課題)

2年生の美術科アンケートから、鑑賞活動が好きではない生徒が56%と過半数を超え、さらに美術の創造活動について苦手意識がある生徒が27%、自分の作品について工夫点を説明することが難しいと感じている生徒が40%いることがわかった。今まで、主題を設定し、作品の構想を練ることをあまり意識しないまま作品を制作したため、自分の作品の工夫点について自信がもてずに説明することが難しいのではないかと考える。これには、導入の段階でゴールを示し、毎時間の振り返りで自分の制作の進捗状況を把握させ、次に何をしたらよいかを考えさせることで見通しをもたせたい。本単元では・アイデアスケッチをしてアイデアを練り完成図をイメージする→・隙間が空かないように接着する→・凹

凸をなくし仕上がりをよくするために木工やすりやサンドペーパーで削る→・固形ワックスで手触りよく光沢が得られるまで磨く。という制作過程がある。このようなものづくりを通して根気強く丁寧に取り組むことで達成感が得られ、お互いの作品のよさを認め合い批評し合う中で自分に自信を持ち、主体的に作品に取り組ませたい。

質問内容	あてはまる			あてはまらない		
	よく	やや	計	計	あまり	まったく
①絵を描くほうが作るよりも好きである。	18%	27%	45%	55%	40%	15%
②作るほうが絵を描くよりも好きである。	24%	33%	57%	43%	34%	9%
③制作するよりも人の作品を鑑賞することが好きである。	14%	30%	44%	56%	36%	20%
④どれも好きではない。	7%	20%	27%	73%	45%	28%
⑤作品を制作するときに、他の人の作品やアドバイスを参考にしている。	20%	56%	76%	24%	16%	8%
⑥自分の制作した作品について考えたことや工夫点を説明することができる。	24%	36%	60%	40%	31%	9%

(3) 指導観 (指導改善のポイント)

このような実態をふまえ、次の3点の指導の工夫を行う。

- ①材料や用具の特徴を生かすために、寄木工芸についてDVDを鑑賞し木の特性を生かした手作りのよさについて考えさせる。
- ②長く使い続けられるものをつくるという主題について、使う人や使う目的、形や色の造形的な要素を取り入れるという条件を提示してアイデアをしっかりと練って考えさせる。過去の作品に触れさせて工夫点などを知ることで、自分の作りたいもののイメージ(作品の完成した姿)をもたせる。
- ③制作途中に作品鑑賞をグループで行い、工夫点を認め合い、もっとこうしたらというアドバイスをすることで制作に生かす活動を取り入れて主体的に作品に取り組ませる。

単元の目標

- 木の特徴を理解し、用途や機能、使う人の気持ちを考えて作品を制作することができる。(知識・技能)
- 使う目的や条件などを基に、主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ることができる。(思考・判断・表現)
- 作品を鑑賞し、用と美の調和や、材料の特徴を生かした工芸のよさを感じ取ることができる。(主体的に学習に取り組む態度)

単元の評価基準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本校が定めた 資質・能力	コミュニケーション力		主体性
評価基準	<p>知形や色、材料などの性質や感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、木でつくられた作品を全体のイメージで捉えることについて理解している。</p> <p>技木工芸の材料や用具を生かし、制作の順序を考え、見通しをもって工夫して表している。</p>	<p>発用途や機能、使う人の気持ちを考えて主題を生み出し、木の特徴の理解にもとづき、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を考え表現の構想を練っている。</p> <p>鑑木工芸の目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、材料の特徴を生かした木工芸のよさや、作者の意図と工芸などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>態表美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく木を使って用途や機能、使う人の気持ちを考えて作品をつくる表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく用と美の調和や、材料の特徴を生かした木工芸のよさを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

指導と評価の計画

次	学習内容	評 価	
		観 点	評価規準（評価方法）
1 (2時間)	<p>○身近な手作りのものについて考える。 ○箱根寄木細工の DVD 鑑賞。 ○手づくりのよさについて考える。 ○日本の伝統工芸レポート作成。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; border-radius: 10px;">課題の設定</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; border-radius: 10px;">情報の収集</div> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 手作りのよさを味わう ～長く使い続けられるものをつくろう～ </div>	知・技	<p>知形や色，材料などの性質や感情にもたらず効果，造形的な特徴などをもとに，木でつくられた作品を全体のイメージで捉えることについて理解している。</p> <p>技木工芸の材料や用具を生かし，制作の順序を考え，見通しをもって工夫して表している。</p> <p>主 態鑑美術の創造活動の喜びを味わい，楽しく用と美の調和や，材料の特徴を生かした木工芸のよさを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 (ワークシート・レポート・振り返り)</p>
2 (2時間)	<p>○使う人を想定して，身近に机の上などで使うことができるものを制作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄木工芸のよさを生かす。 ・ 用と美の両方を兼ね備えたものを制作する。 ・ アイデアスケッチと完成図を描き制作の見通しをもつ。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; border-radius: 10px;">整理・分析</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; border-radius: 10px;">振り返り</div> </div>	思・判・表	<p>発用途や機能，使う人の気持ちを考えて主題を生み出し，木の特徴の理解にもとづき，使いやすさや機能と美しさなどとの調和を考え表現の構想を練っている。</p> <p>鑑木工芸の目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り，材料の特徴を生かした木工芸のよさや，作者の意図と工芸などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。</p> <p>主 態表美術の創造活動の喜びを味わい，楽しく木を使って用途や機能，使う人の気持ちを考えて作品をつくる表現の学習活動に取り組もうとしている。 (アイデアスケッチ・設計図)</p>
3 (10時間)	<p>○接着をする。 ○削る。 ○ワックスで仕上げる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; border-radius: 10px;">創造・表現</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; border-radius: 10px;">振り返り</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; border-radius: 10px;">整理・分析</div> </div>	知・技	<p>鑑グループ内で鑑賞し互いに工夫点を認め，アドバイスをする。</p> <p>知形や色，材料などの性質や感情にもたらず効果，造形的な特徴などをもとに，木でつくられた作品を全体のイメージで捉えることについて理解している。</p> <p>技木工芸の材料や用具を生かし，制作の順序を考え，見通しをもって工夫して表している。 (ワークシート・振り返り)</p>
4 (本時2時間目)	<p>○教科書 62・63 p 「みんなのためのデザイン」を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの人快適に使えるものについて4つの品物を鑑賞する。 ・ 使いやすさ，安全性，美しさなどどのようなところが工夫されているかレーダーチャートにまとめて考える。 ・ 結果を交流する。 <p>○自分の作品の制作過程を振り返り，作品のよさについて伝えられるようにまとめる。 ○グループ内で作品発表をする。 ○全体で交流する。 ○学習を振り返る</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; border-radius: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;">まとめ・創造・表現</div>	主	<p>主 態鑑美術の創造活動の喜びを味わい，楽しく用と美の調和や，材料の特徴を生かした木工芸のよさを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 (ワークシート・振り返り・作品まとめ)</p>

本時の学習

(1) 本時の目標

作品を鑑賞し、用と美の調和や、材料の特徴を生かした工芸のよさを感じ取ることができる。
(主体的に学習に取り組む態度)


(2) 観点別評価規準

C	B	A
作品の用途や形や模様 of 工夫について説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品の用途について使いやすくするために工夫したことや、美しい形や模様をどのように追及したか説明することができる。 ・ 他の人の作品の良さを認めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品の用途について使いやすくするために参考にした様式や、また、美しい形や模様を何かに見立てて追及したなど説明することができる。 ・ 他の人の作品について工夫点について説明することができる。

(3) 準備物

生徒作品、ワークシート、タブレット、テレビ、実物投影機

(4) 学習の展開

	学習活動	◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて	評価規準 (評価方法)
導入 【発見】	<p>①教科書 62・63 p の「みんなのためのザイン」から、使いやすさ、安全性、美しさなどどのようなところが工夫されているか前時を振り返る。 レーダーチャートにまとめて考える。</p> <p>②自分の作品を見ながら今までの制作過程を振り返る。</p> <p>③めあての提示</p>	<p>◇教科書の作品を見ながら振り返りをする。</p> <p>◇今までの作品制作について振り返らせる。(ほかのクラスの作品も紹介する)</p>	
<p>本時のめあて 作品鑑賞 ～作品の工夫点について伝えよう、聞き合おう、感じよう！～</p>			
展開① 【思考】	<p>① 作品の振り返りをレーダーチャートを使ってまとめる。</p> <p style="text-align: center;">【個人思考】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p>○生徒の作品の振り返り例 レーダーチャートを参考にしてまとめてみよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コインをためるための貯金箱を作った。 2. コインを入れる穴をスライド式にして滑りをよくするために削った。 3. 凹凸をなくすために必死に削ったのでワックスのりがよくつやつやに仕上がった。 4. 親しみやすい形にするために丸みをもたせた。 5. 面によって松の白とかりんの赤を大胆に分けた。 </div>	<p>◇用途、使いやすさ、仕上がり、形、<u>模様の美しさ</u>の5つについて工夫点をまとめる。</p>	<p>態鑑美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく用と美の調和や、材料の特徴を生かした木工芸のよさを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 (ワークシート) (授業観察)</p>
	<p>② まとめた内容について班で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表者：作品を自分の作品を説明する。 ・ 聞く人：評価用シートにまとめていく。 <p style="text-align: center;">【グループ思考】</p>	<p>◇相手に伝わるように造形の要素を用いて説明させる。</p> <p>◆ワークシートに参考になるように話型を示す。</p>	

<p>展開② 【深化】</p>	<p>③ グループ内で全体に紹介したい作品を決める。 【グループ思考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5つのポイントに沿って、選んだ根拠も発表する。 ・ 作品の良さが伝わるように話し合っ てまとめる。 <p>⑥全体発表 (班ごと) 【全体共有】</p>	<p>◇交流, 発表を通じて気づきや考えたことがあれば付け加える。</p> <p>◇作品を選んだ根拠を造形の要素などを使って明確にさせる。 (形, 色, 模様, 構造, 手触りなど)</p>	<p>(作品評価用ワークシート)</p>
<p>終末 【まとめ・振り返り】</p>	<p>⑦振り返りをする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>○生徒の振り返り例</p> <p>～さんの作品は, 箱根寄木細工の秘密箱のようにどこかを動かすと開く形状になっていて, 大切なものをしまうのに適している。また, 松とかりんの木材の色を利用しジグザグに組み合わせた模様になっていて, 他の人にはない発想が見られた。ワックスで光沢が出るまで磨き, 作品への愛着が感じられた。</p> </div>	

単元構想図

学年・単元名（題材名）

2年 手作りのよさを味わう

～寄木工芸で長く使い続けられるものをつくろう～

① 本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

寄木の特徴を生かして手作りのよさを味わおう。

② 単元を貫く問い（単元を通して考え深めていく「問い」）

使いやすさ，機能と美しさの調和を総合的に考えて制作しよう。

③ 個別の問い（単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

1次	<p>○身近な手作りのものについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none">・日本の伝統工芸品の素材・製造について調べ，ものづくりについて考える。・機械ではできないものづくりのよさについて考える。
2次	<p>○使う人を想定して身近において使うことができるものを制作する。</p> <ul style="list-style-type: none">・寄木材料のよさを生かす。（2種類の色の木片を使用）・使う目的・機能と美しさを兼ね備えたものを制作する。・出来上りをイメージしてアイデアスケッチをする。
3次	<p>○作品を制作する。</p> <ul style="list-style-type: none">・完成図をイメージして木片を丁寧に接着する。・凹凸をなくすために，木工やすり，サンドペーパーなどを使って削る。・ワックスを布ですりこみ，つやが出るまで磨く。
4次	<p>○出来上がった作品を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none">・自分の作品についてレーダーチャートを利用してまとめる。・班のなかで互いに作品を鑑賞し，お互いの工夫のよさについて考える。